

10月



(<https://upload.wikimedia.org/wikipedia/ja/5/53/Kema-riv.JPG>)より引用



あの日のあの川 リレー日記 ～第52話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第52話主人公 鈴木雄大

(筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：埼玉県高麗川)

「少年時代」

いつのこと？：小1～中1

どこの川？：高麗川

私の少年時代の思い出である高麗川は埼玉県南西部から中部にかけて流れる荒川水系の一级河川で、越辺川の支流です。

私は小学校1年生から中学1年生の間の7年間の間をこの高麗川が流れる坂戸市の西坂戸という地区で過ごし、育ってきました。中学1年から2年に進級するタイミングで転校することになったため、この地域で過ごしたのは7年となってしまいましたが、私の最も大切に楽しくて温かった日々はこの地域で過ごした7年の日々でした。そんな私にとっての大切な場所に流れていて、少年時代の私の遊び場だったのがこの高麗川でした。

高麗川は私にとってとても身近な場所にありました。小学校と中学校のすぐそばに橋があり、その下に高麗川が流れていました。小学校の校歌にも「光る高麗川見渡せば」という歌詞がありました。また、小学校の卒業式での掛け合いでは「キラキラと輝く高麗川の流れ」というセリフがありました。それくらい私の生活のすぐそばに高麗川は流れていました。

小さい頃の私は昆虫採取や魚取り、釣りなどの遊びが大好きでした。そんな私はよく父親に連れられ近くの高麗川に出かけては、網と釣り竿を持って川に住む生き物を観察していました。

ガサガサ(網での生物採取)では、アブラハヤ、オイカワ、カワムツ、ウグイ、モツゴ、ヨシノボリ、コイ、フナ、シマドジョウ、ドジョウなどが良く取れたのを覚えています。レアな種類としてナマズ、ギバチ、カジカ、カマツカ、カムルチーなどが取れることもありました。さらに本当に激レアな部類に当たるとは思います。一度だけスナヤツメが取れたこともありました。水生昆虫では水カマキリやタイコウチが偶に取れました。あとはヌマエビとスジエビ、アメリカザリガニやサワガニなんかも沢山いましたね。クサガメもよくいました。また、釣りではオイカワとカワムツがよく釣れたのを覚えています。婚姻色がとても綺麗な魚たちです。

こんな形で冬以外の季節は頻繁に川に出かけて生物観察をしていたので、高麗川の生態系に詳しくなっていました。同級生にはお魚博士なんてあだ名をつけられたこともありましたね。懐かしい思い出です。今振り返ってみると、これだけ多くの生物が暮らしていたということは栄養豊かで綺麗な川だったのだらうなと思います。

高学年になるに連れて、友達と川で遊ぶ機会も増えました。友達たちとガサガサや釣りをしたり、河原で水切り合戦をしたり、後は夏暑い日にみんなで泳いだり、天然の飛び込み台から飛び込んだりして遊んでいました。

今思えば、高麗川での掛け合い遊びを通して仲を深めた友人も多くいたなと感じます。人の少ない田舎町でしたが、自然は沢山ありました。そうした美しい自然の中で遊ぶことで小さいことなどどうでも良くなり、ただ単に楽しかったという思い出が共有されていく。そんな形で私たちは仲を深めていったのだらうと思います。

そんなこんなで川と共に育ってきた私でしたが、家庭の事情で中学 1 年の終わりに引っ越すことになってしまい、私はこの地域を去りました。ですが、この地域で過ごした 7 年間はかけがえのない宝物であり、この地域は私の故郷です。そして、その故郷には高麗川が流れているのです。もしかしたら、美しい自然と私の思い出が沢山詰まった高麗川が、「その地が私の故郷だ」と、私に思わせるのかも知れません。そんな高麗川があったからこそ、「あの 7 年は宝物だった」と感じることもできるのかも知れません。

あれからもう 9 年が経ちました。あの美しかった高麗川は、私の少年時代の思い出と共に姿を変えずに流れているだろうか。とても気になってきました。考えてみればあれからまだ 1 度も訪れていないのです。大学在学中に 1 度足を運んでみようと思います。埋め立てられたりしていないといいのですが...。ちょっと不安ですね。ただ、あの頃の美しい姿を保っていて欲しいと願わずにはいられないですが例えそうでなかったとしても、訪れさえすれば、私の少年時代の思い出が高麗川の流れと共に私の中に流れ込んでくる、それは確かなことのように感じられます。

(次は松永智也さんにバトンを託します)